

北海道肉牛研究会 ニュース

No.25 2020.10.26

北海道肉牛研究会事務局
北海道立総合研究機構畜産試験場
肉牛グループ
〒081-0038
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地1
Tel :0156-64-0609 FAX:0156-64-3212

北海道肉牛研究会大会の中止について

令和2年度の大会については、酪農学園大学において肉用牛研究会との共催で開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による昨今の状況を踏まえ中止となります。これにともない、定期総会につきましても会員の皆様が参集する従来通りの形式を取り止め、書面による総会の実施といたします。

なお、令和3年度の大会・総会につきましては、酪農学園大学において本年度開催できなかった肉用牛研究会との共催で開催できるよう調整を進めております。

2020年 道内肉牛関連行事予定

第17回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会	10月4日(土)	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会(交雑牛の部)	10月24日(土)	帯広市・畜産公社
第10回北海道肉専用種枝肉共励会 (アンガス・日本短角)	10月29日(木)	帯広市・畜産公社
第17回資源循環型肉牛生産シンポジウム2020	10月29日(木)	帯広市・とかちプラザ
第19回北海道あか牛枝肉共励会	11月20日(金)	安平町・畜産公社
北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)	11月28日(土)	帯広市・畜産公社

※すでに終了した行事もあります。行事の概要等につきましては主催者へお問い合わせください。

黒毛和種における体型評価部位「肋付き」の客観的評価手法の開発

牛の能力評価の一つとして体型評価があります。体型評価は和牛登録の要件であったり、評価成績を競う品評会（いわゆる共進会）が行われたりします。和牛業界内でも関心の高い項目の一つではないでしょうか。北海道の黒毛和種は体型評価成績（審査得点）が全国平均より低く（図 1）、全国和牛能力共進会でもあと一歩というところなのです。その原因の一つとして、「肋付きの悪さ」が審査員をはじめとした関係者の間で指摘されています。

しかし、この肋付きは客観的なデータがなく、これまでに調査されたこともないため、改良に着手するのは困難な現状があります。そこで、当畜産試験場においてこの肋付きの改良に向けた基礎的な研究を進めることとなりました。

研究では、「小型デジタル水準計（写真）」を使って、牛体の「肩甲骨後端より後ろ 3～4 cm 部分（胸囲を計る位置）の背骨付近」の水平線からの角度を測定します（図 2）。この角度が、肋付きの評価指標として有効かを検証したいと考えています。その上で、この角度の変動が遺伝によるのか、飼い方なのか、ウシの成長過程でどう変化していくかを調査していきます。

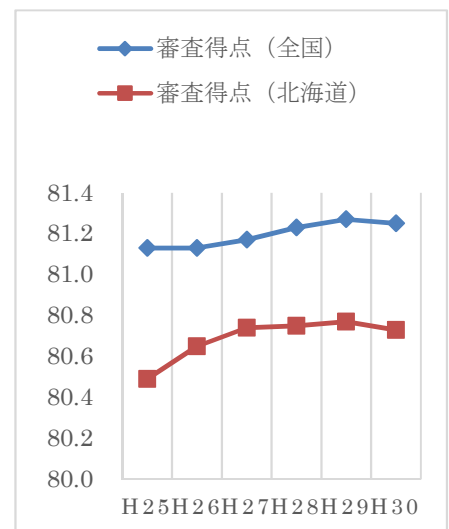


図 1: 平均審査得点の年次推移
(全国和牛登録協会)



写真：デジタル水準計「Digi-Pas®」

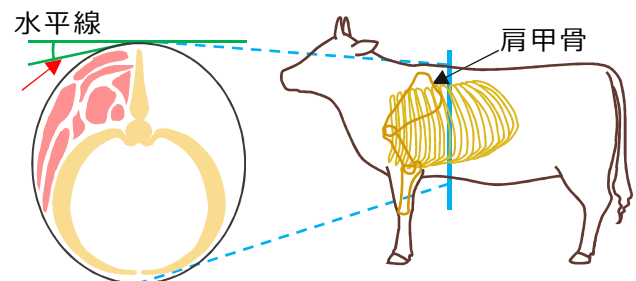


図 2：測定部位

会費納入のお願い!!

2020 年度年会費(個人会員 2,000 円)の納入をお願いします。

2019 年度以前の会費を未納の方は至急納入して下さい(同封請求書を参照してください)。

研究会は会員の皆さんからの会費で運営されていますので、忘れずに納入をお願いします。

* 勤務先・住所等が変更になった場合は事務局までお知らせ下さい。

* 退会の際には必ず事務局までご連絡下さい。